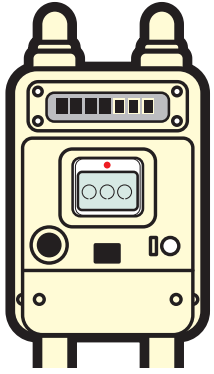


お客様向け

知っておこう!!



家庭用 ガスメーターの
はたらき



JLIA

社団法人日本エルピーガス供給機器工業会

ご存じでしたか?

ガスメーターのしくみとはたらき

ガスメーターは、ガス使用量を測定するだけでなく、内蔵されたコンピューターが危険と判断した時に、ガスを止める機能ももっています。安心してLPガスライフをお過ごしください。

ガスメーターのしくみ

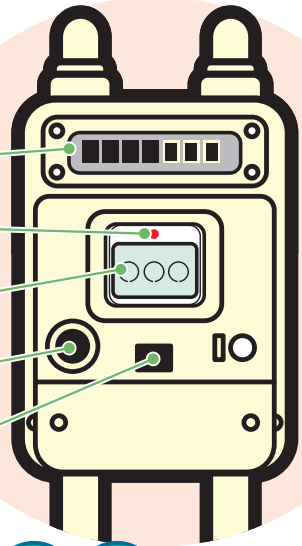
カウンター ガス使用量が表示されます。

赤などのランプ 点滅中は、ガスを使用できません。

表示部 ガスメーターの設定や状態が表示されます。

復帰ボタン ガスが止まったときに押すと、再び使えるようになります。

有効期限シール ガスメーターの有効期限が表示されています。



ガスメーターのはたらき

こんなとき

大量のガスが流れたとき



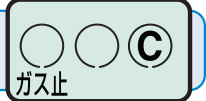
※ホースが外れてしまったときなど

そのときガスメーターは？

ガス漏れと判断して、ガスを止めます。

ガスメーターの表示部

「ガス止」と「C」の文字が表示されます。

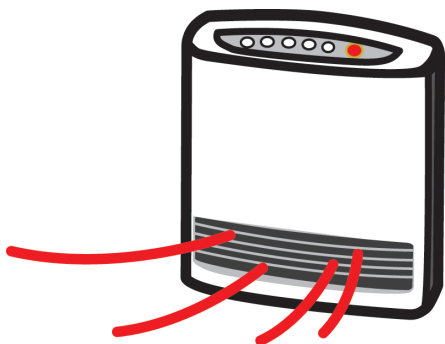


※ガスの漏れ量が少ないときは、ガスが漏れても止めない場合があります。

※季節の変わり目や新しいガス器具の設置など、急にガスの使用量が増えたときは、ガス漏れでなくてもガス漏れと判断してガスを止めることがあります。

こんなとき

長い時間ガスを使用したとき



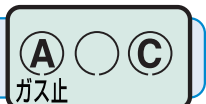
※ガス器具の消し忘れなど

そのときガスメーターは？

ガス器具の消し忘れと判断して、ガスを止めます。

ガスメーターの表示部

「ガス止」と「A」「C」の文字が表示されます。



※小さいとろ火の場合は、長時間使ってもガスは止まりません。

※ガス器具のガス消費量や、普段のガスの使い方(使用時間、同時使用台数など)により、ガスが止まるまでの時間が変わります。

※お風呂の沸かし過ぎや、鍋の焦付きは防止できません。

こんなとき

大きな揺れを感じたとき



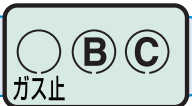
※地震など(震度5相当以上)

そのときガスメーターは？

震度5相当以上であれば、ガスを止めます。

ガスメーターの表示部

「ガス止」と「B」「C」の文字が表示されます。

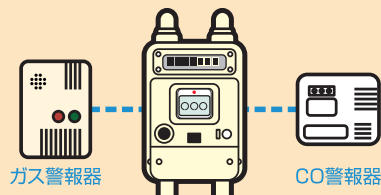


※建物の状態及び地質の状態で震度5未満の地震でもガスを止める場合や、震度5以上の地震でもガスを止めない場合があります。

※ガスの使用中でもとろ火程度ではガスを止めない場合があります。

※ガスを使用していない場合は、ガスを止めません。

ガスメーターは、警報器と連動させることで、より安全になります。



ガス警報器やCO警報器が鳴ると…

立ち消えでガスが漏れたとき



COが発生したとき



ガスメーターがガスを止めます

劣化によってガスが漏れたとき



ネズミがかじってガスが漏れたとき



※警報器とガスメーターを連動していない場合は、ガス警報器やCO警報器が作動してもガスメーターはガスを止めません。

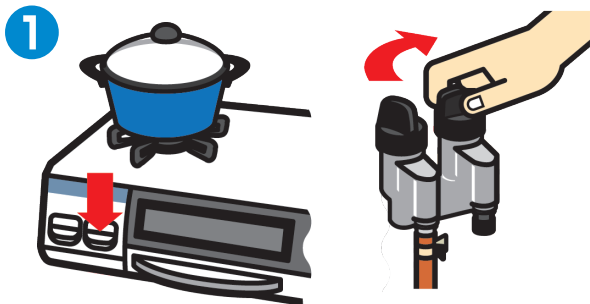
※ガス漏れやCOが発生しても、警報器が鳴らないとガスメーターはガスを止めません。



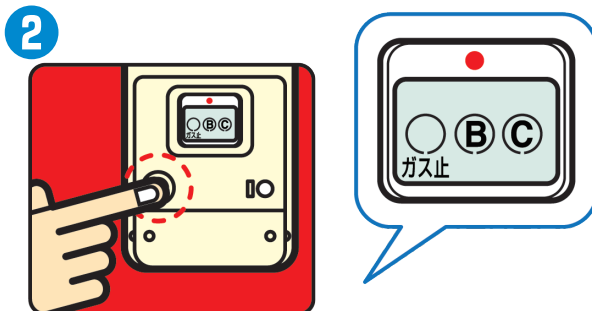
ガスメーターの表示部

ガスメーターの復帰操作

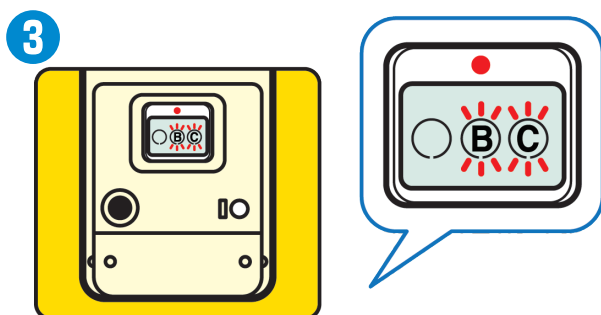
ガスメーターの表示部に「ガス止」と表示され、ガスが止まった場合は次の手順に従って操作してください。
ガス漏れなどの異常がなければ、再びガスが使えるようになります。



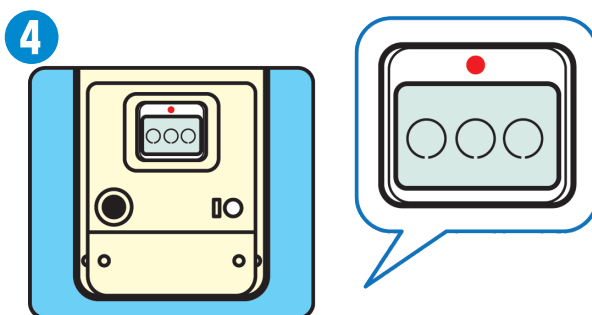
1 ガス器具のスイッチを切ってください。使っていない元栓が閉まっているか確認してください。



2 左下にある黒い復帰ボタンを約1秒押し、手を放してください。「ガス止」の文字が消えます。



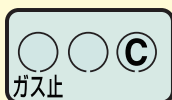
3 文字とランプが点滅するので、約1分お待ちください。
※ランプは、復帰ボタン部にあるものもあります。



4 文字とランプの点滅が消えるとガスが使えるようになります。

※ガス器具の点火スイッチや使用していない元栓が開いていると、再びガスが止まってしまいます。必ず閉めてください。

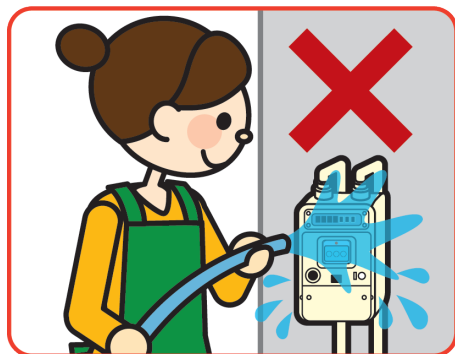
※復帰操作により、ガスメーターの表示が変わる場合があります。



※ガス器具の点火スイッチや元栓が閉まっても、再びガスが止まってしまう場合は、ガス漏れの可能性があります。繰り返し復帰操作を行わずガス販売店に連絡してください。

※文字とランプの点滅が消えるまでガスは使えません。

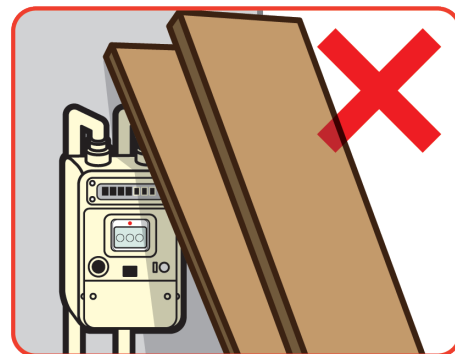
⚠ ガスメーターは精密機械です



水をかけたり、洗ったりしないでください。



ものをぶつけるなどの衝撃を与えないでください。



ものを立て掛けたり、寄りかかったりしないでください。

社団法人日本エルピーガス供給機器工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目5番2号 エアチャイナビル6F

TEL:03-3502-1361 FAX:03-3593-0758

www.jlia-spa.or.jp